



葛飾おうち博物館



博物館だよりジュニア -2022年夏・特別号-

夏休み、おうちで月と金星の満ち欠けや、葛飾区内にある橋について勉強してみよう!



月の満ち欠け

★ ★ ★ ★ ★
難易度

月は地球の周りを回っている天体です。月は太陽の光が当たっているところが明るく見えます。地球から月を見たとき、月がどの位置にあるかで、月の見かけの形が変わります。月は「新月」→「上弦」→「満月」→「下弦」→「新月」と約1か月かけて変化します。

? Q クイズ



右の写真の月はドームくんとテンちゃんのどちらから見た月でしょうか?
答えは右下にあります。

太陽

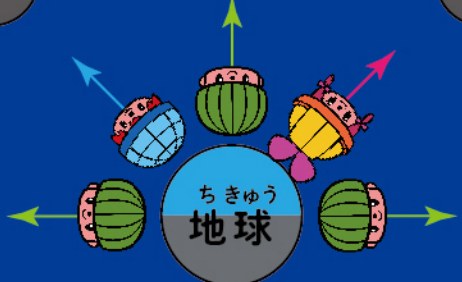


はんげつ 半月 (上弦の月)

しんげつ 新月



はんげつ 半月 (下弦の月)



月の公転軌道

まんげつ 満月



2022年夏 月の満ち欠け情報

- 上弦：7/ 7, 8/ 5, 9/ 4
- 満月：7/14, 8/12, 9/10
- 下弦：7/20, 8/19, 9/18
- 新月：7/29, 8/27, 9/26

答え…ドームくん

めざせ! 橋マイスター かつしか子ども橋教室

おしらせ
 令和4年7月23日(土)~9月4日(日)
 まで博物館では橋をテーマとした
**特別展「かつしかと橋~橋名板が
 語る橋の歴史~」**を開催します。
 夏休みにぜひ見に来てね。
 詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

荒川・江戸川・中川などの川に囲まれた葛飾区に住むわたしたちにとって、「橋」は身近な存在ではないでしょうか。昔の葛飾区には大きい川だけでなく小さな水路がたくさんありました。今でも、橋があった場所にある交差点や踏切には橋の名前が付けられています。普段何気なく渡っている「橋」の歴史や移り変わりを、昔と今の写真を見ながら勉強してみましょう。

葛飾区内のいろいろな橋



高砂橋
 中川にある橋で青戸と高砂を結んでいます。この橋の下流で中川と新中川が分かれています。今の橋は平成15年(2003)にできた2代目の橋で、真ん中の塔から張られたワイヤーで橋を支えています。



堀切橋
 荒川と綾瀬川にある橋で葛飾区と足立区を結んでいます。今の橋は昭和40年(1965)にできた3代目の橋で、昔の橋は今より少し下流にありました。



平和橋
 中川にある橋で東立石・東四つ木と東新小岩・西新小岩を結んでいます。今の橋は昭和35年(1960)にできた2代目の橋で、橋の欄干に平和の象徴「鳩」の銅像があるのが特徴です。



中川橋
 中川にある橋で亀有と新宿を結んでいます。この場所には江戸時代、水戸佐倉道という道が通っていましたが、その頃はまだ橋はなくて船で渡っていました。明治17年(1884)に最初の橋ができて、今の橋は平成20年(2008)にできた橋です。



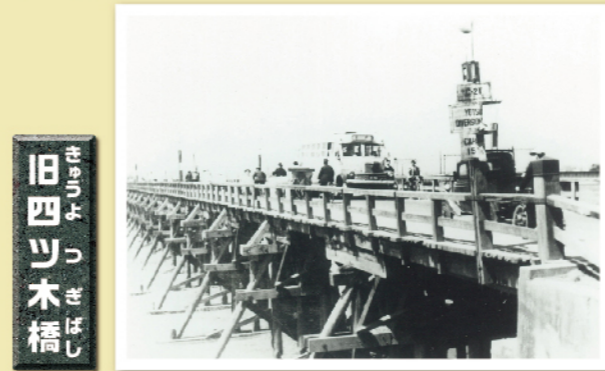
四つ木橋
 荒川にある橋で葛飾区と墨田区を結んでいます。昭和27年(1952)にできた橋で、真ん中のアーチ部分が特徴です。開通したときは盛大なお祝いが行われました。



葛飾橋
 江戸川にある橋で葛飾区と千葉県松戸市を結んでいます。今の橋は昭和47年(1972)にできた橋で、橋の骨組みが三角形になるように造られているのが特徴です。

昔の橋の写真を見てみよう

今は金属やコンクリートの橋が多いけど、昔は木で造られた橋が多くありました。今の橋とは様子が違うのわかるかな?



旧四つ木橋
 大正11年(1922)に完成した橋で、左のページの四つ木橋ができる前に現在の木根川橋があるあたりにあった橋です。橋を支える土台(橋脚)の部分が今と違うのわかるかな。



旧水戸橋
 小菅の綾瀬川にある橋で、江戸時代から橋があったと記録に残っています。写真の橋は明治時代に作られました。今と違って堤防がないし、向こう岸には馬車が写っているよ。

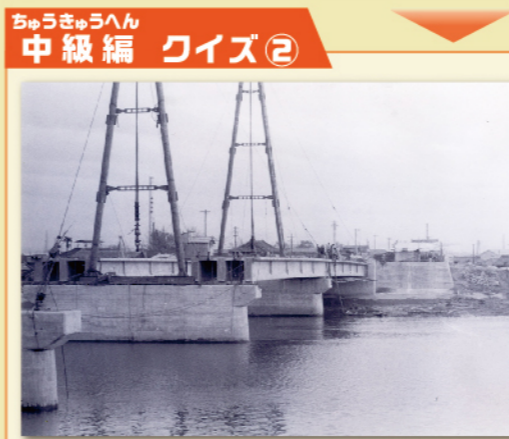
? Q クイズ 昔の橋の写真と見比べてみよう

下の写真は左のページの橋の昔の姿です。どれがどの橋かわかるかな?



初級編 クイズ①
 まずは腕試し!
 同じ形の橋を探してみよう。
ヒント アーチ部分に注目!

こた 答え **はし 橋**



中級編 クイズ②
 ちょっと難しいかな?
 これは橋を造っているときの写真です。同じような形の土台(橋脚)を探してね。
ヒント 同じような土台(橋脚)の橋があるけれど、数に注目してみよう!

こた 答え **はし 橋**

じょうきゅうはん 上級編 クイズ③



あれっ? 橋がない! ここには江戸時代、橋がなくて船で川を渡っていました。これはその様子を描いた浮世絵です。さあ、ここは今の何橋かな? 左ページの説明文をよく読んでみよう。
ヒント 浮世絵の右上には「いにしへのわたし」と書いてあるよ。

こた 答え **はし 橋**

橋の安全を願った石碑~水戸街道石橋供養道標~

この石碑は今から250年位前の江戸時代に造られた道しるべです。現在の新宿あたりに住んでいた人たちが、石でできた橋を造ったときに橋の安全を願って建てました。江戸時代には木でできた骨組みに土を塗った土橋が一般的で、石でできた石橋は少なかったです。



正面 裏面
 このあたりに、石橋二十七ヶ所建立と彫られています。

所在地: 葛飾区新宿2-19(国道6号線沿い) ※見学する時は車に注意してください。

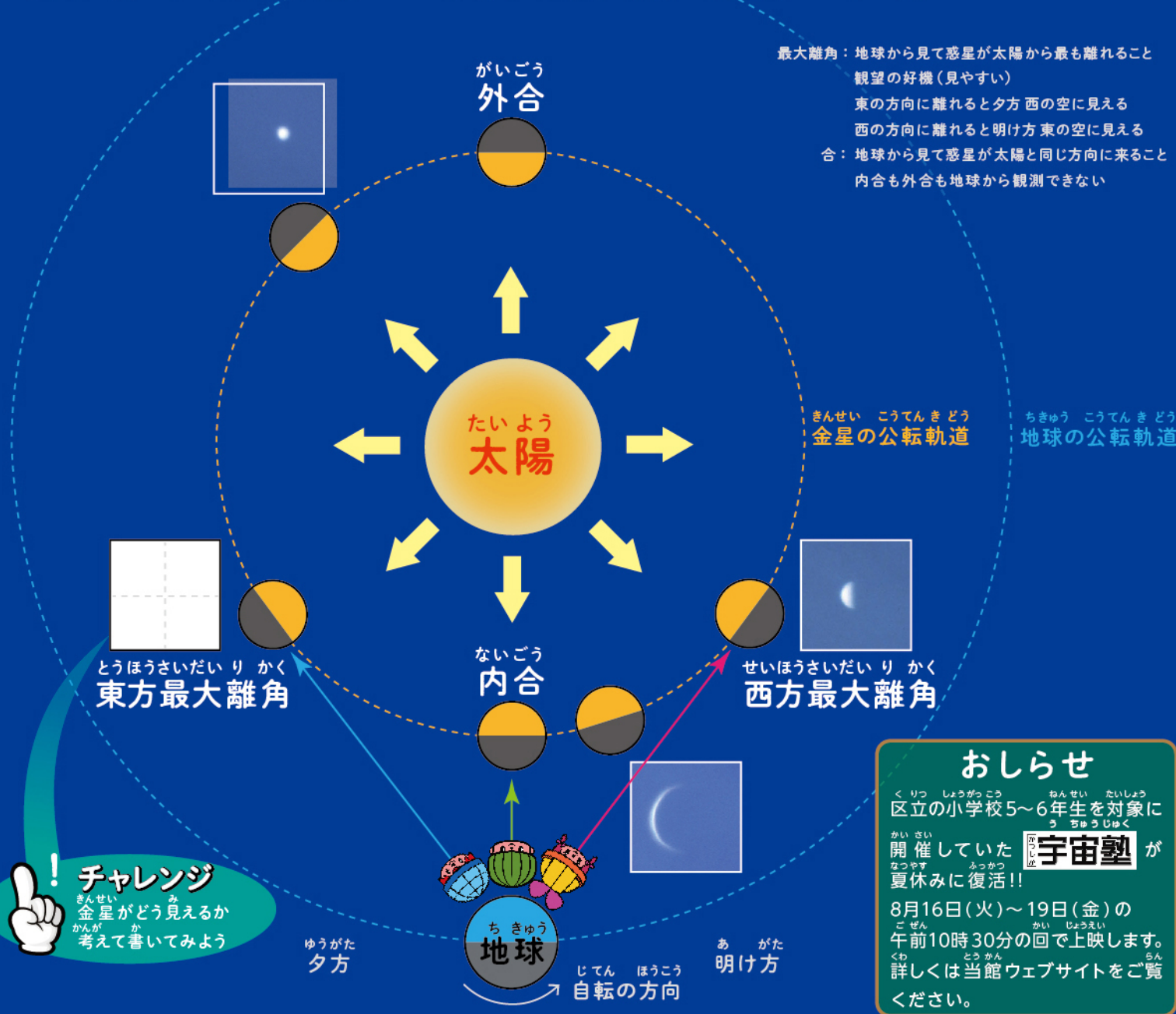
※ 答えは左ページ下にあります。



金星の満ち欠け

難易度 ★★★★★

金星は地球の内側を公転している惑星です。金星は太陽の光が当たっているところが明るく見えます。地球から金星を見たとき、金星がどの位置にあるかで、金星の見かけの形と大きさが変わります。金星の見かけの大きさが変わるの、地球と金星の距離が変化するからです。

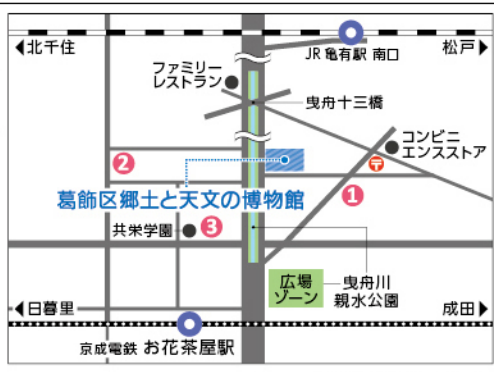


チャレンジ
金星がどう見えるか考えて書いてみよう

お知らせ
区立の小学校5~6年生を対象に開催していた**宇宙塾**が夏休みに復活!!
8月16日(火)~19日(金)の午前10時30分の回で上映します。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

ご利用案内・アクセス

開館時間	午前9時~午後5時 (金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
休館日	月曜日、第2・4火曜日 (月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)
入館料	大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料 (毎週土曜日は中学生以下無料。)
プラネタリウム観覧料	大人 350円 小・中学生 100円 幼児(座席を使う場合) 50円 (毎週土曜日は中学生以下無料。)
年間パスポート	大人 2,000円 中学生以下 700円 購入から1年間、入館料とプラネタリウム観覧料が不要になります。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。 この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。



電車 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分
JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分

バス

- ① レインボーかつしか(有71・72・74系統)又は京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分
有71・72 ウェルビアカつしか~お花茶屋駅~亀有駅南口
有74 ウェルビアカつしか~亀有駅南口~新宿循環
有70 金町駅南口~亀有駅南口~ウェルビアカつしか又はタウンバス車庫
- ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
- ③ 京成タウンバス(有57・綾02系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分
有57 亀有駅南口~お花茶屋駅~葛飾区役所又はタウンバス車庫
綾02 タウンバス車庫~葛飾区役所~綾瀬駅

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1 電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849 WEBサイト <https://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

新型コロナウイルスの感染状況により、ご利用方法などが通常と異なり事前予約が必要な場合があります。必ず事前にウェブサイトでご確認ください。

